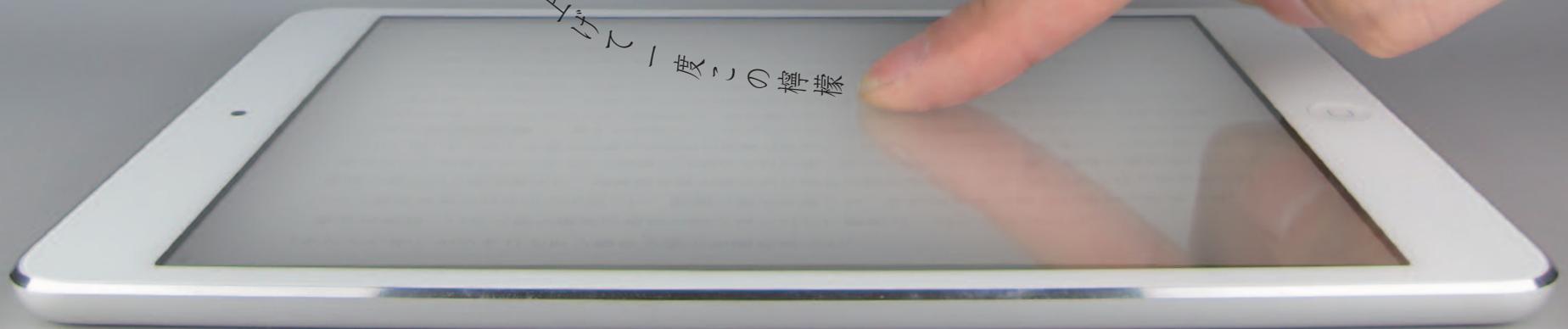


ボクの一行

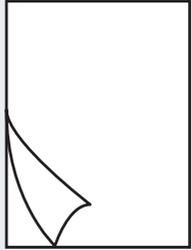
電子書籍が普及する現代における
『デジタル』を利用した
『紙の書籍』にない
新しい書籍のあり方を提案する。

本の虫は、紙の本を愛するけれど、一度この檸檬

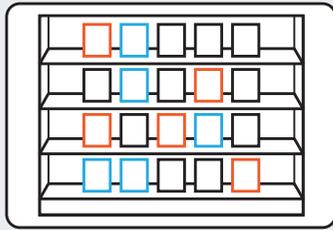


■ Background

現在の電子書籍



紙をめくる演出



疑似的な本棚

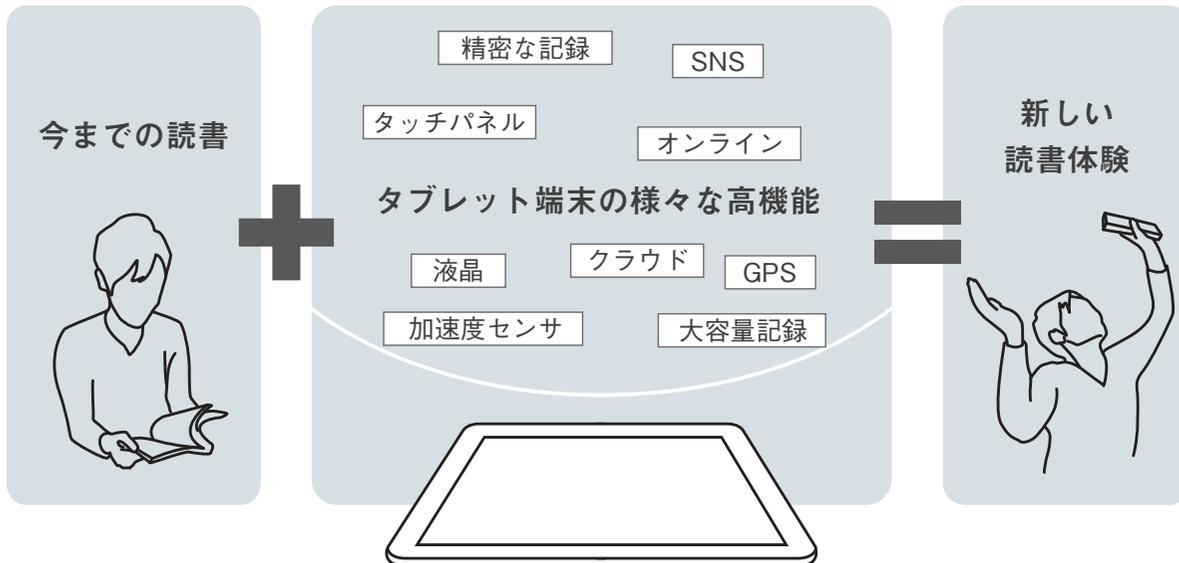


機能を限定した reading 専用端末

高機能

紙の書籍の感覚に近づける方向性が見られる
デジタルならではの楽しみ方はできないか

■ Concept



■ Keywords

記録する

忘れない。
思い出す。
記憶をつなぐ。



共有する

読書友達との
緩やかなコミュニ
ケーション



書籍と 出会う

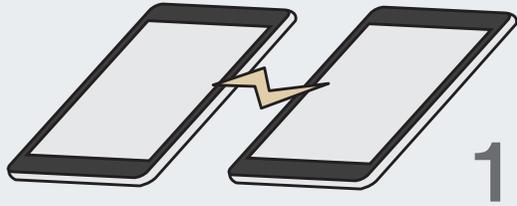
思いがけない
出会い。
再び出会う。



■ How To Use

共有

あらかじめ、読書友達とタブレット端末を共有しておく。



1

ホーム

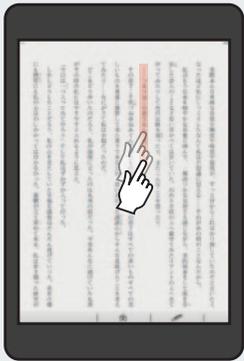
自分や、読書友達が保存した『一行』がホームに追加され、流れていく。気になる『一行』をタップする。



4

文面

読書中、気になる文やお気に入りの一行をドラッグでハイライト化する。この『一行』は同時に端末に保存される。



2

情報

ホームでタップされた『一行』に関する情報が表示される。

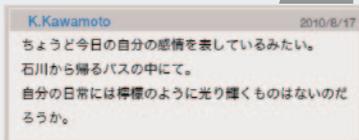


5

+ 情報

ハイライトした人や、時間、場所、思ったことなどの情報を『一行』に付与する。

つまりはこの重さなんだな。



3

読む・買う

所持している書籍は文面へ、未所持の書籍は購入ページに促される。



6

■ Display Flow

